

◆ 小学校算数の課題の分析

今年度の小学校算数の結果は、全国の平均正答率を2.8ポイント下回っており、昨年度と比べ、差が1.3ポイント拡大しています。

- ・「学習指導要領の領域」では、全国の平均正答率との差が「数と計算」で-3.5ポイント、「図形」で-1.6ポイント、「変化と関係」で-3.9ポイント、「データの活用」で-2.1ポイント
- ・「評価の観点」では、全国の平均正答率との差が「知識・技能」で-3.2ポイント、「思考・判断・表現」で-2.4ポイント
- ・「問題形式」では、全国の平均正答率との差が「選択式」で-2.4ポイント、「短答式」で-3.2ポイント、「記述式」で-2.7ポイント



問題別の正答率の状況

(全国の正答率を3ポイント以上下回る問題)

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	北海道	全国	北海道	全国
1 (1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる	2年				○	○				57.7	62.1	0.1	0.2
2	(1) $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	3年					○		○		53.8	56.9	3.6	3.4
	(2) 除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる	5年				○	○				65.5	69.1	1.2	1.3
4	(1) $540 \div 0.6$ を計算する	除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる	5年				○		○			63.3	70.1	3.7	3.1
	(3) 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	5年					○		○		26.1	31.0	2.4	2.4
	(4) 家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く	速さの意味について理解しているかどうかをみる	5年				○		○			48.1	54.1	5.1	4.6

特に課題が大きかった問題の解答類型

(全国の正答率を6.8ポイント下回る問題)

問題番号	問題の概要	解答類型								1	◎	900と解答しているもの
		北海道	1	2	3	4	5	99	無解答			
4 (1)	$540 \div 0.6$ を計算する	北海道	63.3	19.9	5.1	2.3	0.0	5.7	3.7	2		90と解答しているもの
		全国	70.1	16.1	4.2	1.8	0.0	4.7	3.1	3		9と解答しているもの
										4		90、9以外の位取りの誤りがあるもの
										5		除数と被除数を逆にして計算を考えているもの
										99		上記以外の解答

【算数の課題】

- 小数を含むわり算など、複雑な計算では、計算の仕組みの理解を含め、定着が十分に図られていない。
- 速さなどの理解が複雑な内容について、実生活と結び付けるなど、実感を伴った理解が図られていない。
- 問題の意図を理解し、正しく最後まで説明しきることができていない。



【算数に関わるその他の状況】

- 児童質問調査で、「算数の勉強は好き」「算数の授業の内容はよく分かる」など、算数の学習に対する興味・関心や授業の理解度等について、最も肯定的に回答している児童の層の算数の平均正答率は、全国の平均正答率を上回っています。
- 学校質問調査で、「授業において、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った」と肯定的に回答した学校の児童ほど、児童質問調査で「算数の授業の内容はよく分かる」と回答している児童の割合が多い傾向があります。
- 児童質問調査で、「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答した児童ほど、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答している児童の割合が多い傾向があります。